

機械設備定期点検(1)

点検月 平成 29 年 6 月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果			
原水調整設備	調整槽	調整槽ポンプ	浮遊物除去	6	-	砂ろ過塔	洗浄工程確認	月	○	
			本体付着物除去	年	-		空洗タイマー設定値(分)	月	○	
			潤滑油交換	年	-		逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
			外観	年	-		空気弁動作確認	月	○	
			プロペラ確認	年	-		洗浄工程確認	月	○	
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
	原水槽	No.1原水ポンプ	浮遊物除去	月	○	No.2活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○	
			フロートスイッチ動作	年	-		空洗タイマー設定値(分)	月	○	
			本体付着物除去	月	○		空気弁動作確認	月	○	
			潤滑油交換	年	-		逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
			外観	年	-		空気弁動作確認	月	○	
			プロペラ確認	年	-		ゼオライト原水ポンプ	本体付着物除去	年	-
	No.2原水ポンプ	潤滑油交換	年	-	潤滑油交換	年	-			
		外観	年	-	外観	年	-			
		プロペラ確認	年	-	プロペラ確認	年	-			
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-			
		本体付着物除去	年	-	消毒槽	浮遊物除去	6	-		
		潤滑油交換	年	-	浮遊物除去	6	-			
	揚水計量槽		汚泥等の堆積	月	○	No.1処理水移送ポンプ	フリクトスイッチ動作確認	6	-	
			槽内清掃	月	○		本体付着物除去	年	-	
生物処理	第一PH調整槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	-		潤滑油交換	年	-	
			プロペラ確認	年	-		外観	年	-	
	第一沈澱池	撹寄機	トラフの損傷、越流状況	月	○		プロペラ確認	年	-	
			浮遊物の除去	月	○		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	
	第一污泥ピット	返送污泥余剰污泥ポンプ	グリソ補充	6	-	No.2処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-	
			本体付着物除去	年	-		潤滑油交換	年	-	
			潤滑油交換	年	-		外観	年	-	
			外観	年	-		プロペラ確認	年	-	
			プロペラ確認	年	-		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		浮遊物除去	6	○	
	硝化槽	1槽	散気状態	月	○	1-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	○	
			散気状態	月	○		潤滑油交換	年	○	
散気状態			月	○	外観		年	○		
散気状態			月	○	プロペラ確認		年	○		
散気状態			月	○	キャブタイヤケーブル絶縁		年	○		
散気状態			月	○	本体付着物除去		年	○		
脱窒素槽	1槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○	1-2放流水移送ポンプ	潤滑油交換	年	○		
		オイル交換(業者)	年	-		外観	年	○		
		水中攪拌機攪拌状況	月	○		プロペラ確認	年	○		
		オイル交換(業者)	年	-		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○		
		水中攪拌機攪拌状況	月	○		本体付着物除去	年	○		
		オイル交換(業者)	年	-		潤滑油交換	年	○		
再曝気槽	循環ポンプ	散気状態	月	○	2-1放流水移送ポンプ	外観	年	○		
		本体付着物除去	年	-		プロペラ確認	年	○		
		潤滑油交換	年	-		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○		
		外観	年	-		本体付着物除去	年	○		
		プロペラ確認	年	-		潤滑油交換	年	○		
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		外観	年	○		
凝集沈殿	第二PH調整槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	-	2-2放流水移送ポンプ	プロペラ確認	年	○	
			プロペラ確認	年	-		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○	
	脱気槽		散気状態	月	○		3-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	○
			電磁弁動作確認	月	○			潤滑油交換	年	○
	混和槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	-			外観	年	○
			プロペラ確認	年	-			プロペラ確認	年	○
	凝集槽	No.1攪拌機	回転部スケール除去	年	-	キャブタイヤケーブル絶縁		年	○	
			プロペラ確認	年	-	本体付着物除去		年	○	
		No.2攪拌機	回転部スケール除去	年	-	潤滑油交換	年	○		
			プロペラ確認	年	-	外観	年	○		
	第二沈殿槽	撹寄機	トラフの損傷、越流状況	月	○	3-2放流水移送ポンプ	プロペラ確認	年	○	
			浮遊物の除去	月	○		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○	
高度処理設備	ろ過原水ポンプ	グリソ補充	6	-	4-1放流水移送ポンプ		本体付着物除去	年	○	
		回転部スケール除去	年	-			潤滑油交換	年	○	
		プロペラ確認	年	-			外観	年	○	
		浮遊物除去	6	-			プロペラ確認	年	○	
		フリクトレベルスイッチ動作	6	-		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○		
		本体付着物除去	年	-		本体付着物除去	年	○		
潤滑油交換	年	-	潤滑油交換	年	○					
外観	年	-	外観	年	○					
プロペラ確認	年	-	プロペラ確認	年	○					
キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	キャブタイヤケーブル絶縁	年	○					

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

機械設備定期点検(2)

点検月 平成 29 年 6 月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果			
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引ろ過器詰め物点検	月	○
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○
		凝集助剤A	タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	6	○
			ストレーナー清掃	月	○			吸引ろ過器詰め物交換	年	○
		凝集助剤B	タンク内部確認	年	—			タンクの清掃点検	年	○
	ストレーナー清掃		月	○	本体付着物除去			6	—	
	薬品注入ポンプ	メタノール	潤滑油交換	6	—			第二汚泥ピット	排泥ポンプ	潤滑油交換
		No.1 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	外観	年			—
		No.2 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	プロペラ確認	年			—
		No.3 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年			—
		No.4 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	汚泥濃縮槽	濃縮汚泥ポンプ	浮遊物除去	6	—
		塩化第二鉄	潤滑油交換	6	—			本体付着物除去	6	—
		硫酸	潤滑油交換	6	—			潤滑油交換	年	—
		凝集助剤	潤滑油交換	6	—			外観	年	—
	薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月	○	プロペラ確認	年	—		
塩化第二鉄		実量測定(ml/分)	月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
りん酸		実量測定(ml/分)	月	○	散気管確認	6	—			
凝集助剤		実量測定(ml/分)	月	○	フリクトレベルスイッチ動作	6	—			
ブロウ設備	No.1曝気ブロウ	温度	3	○	床排水	床排水ポンプ	浮遊物除去	6	—	
		安全弁動作	3	○			本体付着物除去	6	—	
		各接合部締付	3	○			潤滑油交換	年	—	
		Vベルト張り状態	3	○			外観	年	—	
		ベアリンググリス交換	6	○			プロペラ確認	年	—	
		ギヤオイル交換	6	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		Vベルト交換	年	○		浮遊物除去	6	—		
		圧力計交換	年	○		雑排水槽	雑排水ポンプ	本体付着物除去	6	—
		吸込フィルタ清掃	年	○				潤滑油交換	年	—
		温度	3	○				外観	年	—
		安全弁動作	3	○				プロペラ確認	年	—
		各接合部締付	3	○				キャブタイヤケーブル絶縁	年	—
	Vベルト張り状態	3	○	浮遊物除去	6			—		
	ベアリンググリス交換	6	○	第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	本体付着物除去	6	—		
	ギヤオイル交換	6	○			潤滑油交換	年	—		
	Vベルト交換	年	○			外観	年	—		
	圧力計交換	年	○			プロペラ確認	年	—		
	吸込フィルタ清掃	年	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
	温度	3	—			槽内点検	月	○		
	安全弁動作	3	—	プレッシャー		警報の有無	月	○		
	各接合部締付	3	—			清掃	年	—		
	No.2曝気ブロウ	Vベルト張り状態	3	○	PH計	第一PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05	
		ベアリンググリス交換	6	○			KCL確認、補充	月	○	
		ギヤオイル交換	6	—			電極の清掃及び校正	月	○	
		Vベルト交換	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	8.15-8.25	
		圧力計交換	年	—			KCL確認、補充	月	○	
		吸込フィルタ清掃	年	—			電極の清掃及び校正	月	○	
		温度	3	—		第二PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55	
		安全弁動作	3	○			KCL確認、補充	月	○	
		Vベルト張り状態	3	○			電極の清掃及び校正	月	○	
		ギヤオイル交換	3	○			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45	
		ベアリンググリス交換	6	○			KCL確認、補充	月	○	
		Vベルト交換	年	○			電極の清掃及び校正	月	○	
	フィルタエレメント交換	年	○	混和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85			
	安全弁動作	3	○		KCL確認、補充	月	○			
	原水槽攪拌ブロウ	Vベルト張り状態	3	○	中和槽		電極の清掃及び校正	月	○	
ギヤオイル交換		3	○	設定値(薬注ポンプon-off)			月	○		
ベアリンググリス交換		6	○	KCL確認、補充			月	○		
Vベルト交換		年	○	電極の清掃及び校正			月	○		
フィルタエレメント交換		年	○	設定値(薬注ポンプon-off)			月	○		
安全弁動作		3	○	KCL確認、補充			月	○		
汚泥貯留槽攪拌ブロウ	Vベルト張り状態	3	○	PH計		電極の清掃及び校正	月	○		
	ギヤオイル交換	3	○			設定値(薬注ポンプon-off)	月	○		
	ベアリンググリス交換	6	○			KCL確認、補充	月	○		
	Vベルト交換	年	○			電極の清掃及び校正	月	○		
	フィルタエレメント交換	年	○			設定値(薬注ポンプon-off)	月	○		
	安全弁動作	3	○			KCL確認、補充	月	○		
空洗ブロウ	Vベルト張り状態	3	○	PH計		電極の清掃及び校正	月	○		
	ベアリンググリス交換	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	○		
	ギヤオイル交換	年	—			KCL確認、補充	月	○		
	Vベルト交換	年	—			電極の清掃及び校正	月	○		
	フィルタエレメント交換	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	○		
	安全弁動作	3	○			KCL確認、補充	月	○		

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

空洗ブロウについては、3月に更新をしているので年点検の項目は行っておりません。

電気設備定期点検(1/2)

点検月 平成 29 年 6 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロワ	1	電流値(A) : 162A	6	135.4	148.0	149.3	○
		電圧値(V) : 200V	6	-	-	-	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.2曝気ブロワ	2	電流値(A) : 162A	6	135.4	144.5	123.1	○
		電圧値(V) : 200V	6	-	-	-	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.3曝気ブロワ	3	電流値(A) : 170A	6	-	-	-	
		電圧値(V) : 200V	6	-	-	-	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
原水槽 攪拌ブロワ	4	電流値(A) : 3.7A	6	3.01	3.10	3.20	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
余剰汚泥ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
床排水ポンプ	14	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一PH調整槽 攪拌機	24	電流値(A) : 2.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 9.89A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 7.38A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注)測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR、S、T 絶縁抵抗値はR-E、S-E、T-Eとします。

曝気ブロワの絶縁抵抗値について上段は、U-E、V-E、W-Eで、下段は、X-E、Y-E、Z-Eとします。

判定の基準は、電流値については定格値以下であること、絶縁抵抗値については3φは0.2MΩ以上とし1φは0.1MΩ以上とします。

電気設備定期点検(2/2)

点検月 平成 29 年 6 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値	判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
No.1 処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
No.2 処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
No.1 凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
No.2 凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
第二沈殿槽 搔寄機	41	電流値(A) : 2.35A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
No.1 凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		

機械名	線番	点検項目	周期	測定値	判定
No.2凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
空洗ブロワ	46	電流値(A) : 3.8A	6	3.62 3.74 3.68	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
汚泥貯留槽 攪拌ブロワ	47	電流値(A) : 6.8A	6	4.57 5.03 5.07	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	電流値(A) : 3.5A	6		
		電流値(A) : 3.5A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	6	8.57 8.42 8.71	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
第二雑排水 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6		
		絶縁抵抗値(MΩ)	年		
No.1-1放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6	3.53 3.37 3.27	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
No.1-2放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6	2.91 2.82 2.76	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
No.2-1放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6	3.02 2.98 2.86	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
No.2-2放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6	3.15 3.11 3.16	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
No.3-1放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6	2.76 2.78 2.73	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
No.3-2放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6	2.78 2.70 2.69	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
No.4-1放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6	3.02 3.14 3.03	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○
No.4-2放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6	2.99 3.08 3.00	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞ ∞ ∞	○

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします

備考 No.3曝気ブロワについては、現在停止中のため絶縁抵抗測定のみ行っております。